

アールと木柵でおしゃれな門まわりを演出

I 様邸

門まわりとフェンスをリフォーム。もとの出入り口とは真裏の方角に、新たに門をつくりました。お施主様の要望もあってアールのデザインと木製フェンスを多用。鋳物の手摺りやポスト、照明器具、立水栓などディテールにもこだわり、おしゃれでナチュラルな雰囲気のエクステリアが実現しました。



【門〜アプローチ】
階段を上った正面に壁が立ち、中への視線をさりげなく目隠し。アプローチはここから右に折れ、曲がりくねりながら玄関へ。



【門まわり】
高低差を生かして立体感のある門まわりに。門扉も床もホワイトで統一。曲線的なラインがやさしい雰囲気を演出。ポストや照明など小物使いも効いています。



【美しいディテール】
門扉にはスリットが設けられ、庭がチラリと見えるように演出されています。鋳物の飾りがエレガントなアクセントに。



【木製フェンスと花壇】
敷地の周囲は木製フェンスでやさしく目隠し。庭の一角は奥様の花壇になっています。

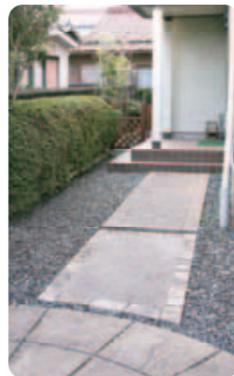
レンガ+天然石で懐かしく素朴な雰囲気に

K 様邸

K様からのご要望は「素朴でナチュラルなイメージ」。それに応えて、レンガや石など天然素材を使って門まわりや庭をプランニング。門から玄関までが遠いので、アプローチは敷石に変化をつけて楽しみながら歩けるように工夫しました。



【レンガの門まわり】
素朴でノスタルジックな感覚のレンガ製の門まわり。階段につけたアールのやさしさが、人を温かく招き入れてくれます。重くなりすぎないように、周囲の塗り壁は淡い同系色で仕上げました。



【玄関アプローチ】
門から折れ曲がって玄関にいたるアプローチ。アールに組んだり縁取ったり、変化をつけながら幾何学模様と並べた敷石が美しい。

【カーポートから庭を見る】
カーポート（手前）との段差にレンガと塗り壁を使用して、表の門まわりとコーディネート。隣家との境は木柵が目隠し。

第25回 エクステリア施工コンテスト 募集中!!

期間：平成 20年 1月 21日～3月 20日

応募部門：全6部門

A. シンプルモダンスタイル部門

シンプルでありながら個性的な印象を感じさせる住宅部門

B. 洋風スタイル部門

洋館のような端正で洗練された印象を与える住宅部門

C. 南欧風スタイル部門

南ヨーロッパをイメージさせる住宅スタイル部門

D. 和風スタイル部門

和の落ち着いたきと流行にとらわれない普遍的な住宅スタイル部門

E. ウォールEX部門

テラス、アウトドアリビング、バルコニー商品を中心にウォール製品を効果的に使用した施工例（A～D部門以外）

F. パブリックEX部門

公共物件、大型物件及び土木景観物件の施工例部門

各賞

- ① 金賞 6点…表彰トロフィ・写真パネル・副賞10万円
- ② 銀賞 12点…表彰トロフィ・写真パネル・副賞5万円
- ③ 銅賞 18点…表彰トロフィ・写真パネル・副賞1万円
- ④ 敢闘賞 12点…表彰トロフィ・写真パネル・副賞1万円
- ⑤ 参加賞 …… 応募作品1点につきQUOカード(500円)を贈呈

※詳しくは最寄りの営業所まで

御庭会通信

東海御庭会

11月2日
愛知県名古屋 通信会館にて

東海御庭会では11月2日に「研修会」を行いました。今回はガーデンアートスタジオの中野正生先生を講師にお迎えしてデッサン講習を行いました。参加者の皆様は、普段はマウスを扱う手を鉛筆に置き換えて悪戦苦闘の様子もみられましたが、中野先生の理論と手ほどきのおかげでコツをつかむと実際の仕事でもやってみたいとの声しきりでした。終盤には時間が足りないとの早くも次回を要望される声もあり、白熱した研修会になりました。



中国御庭会

11月6日
山口県周南市 ザ・グラマシーにて

中国御庭会では11月6日に「研修会」を行いました。今回は前年に引き続き(有)エクスプランニングの古橋宜昌先生を講師にお迎えしてプランニング講習第2弾を行いました。いつもながら即、実践に役立つ内容で参加者の皆様も明日からの仕事にどういう風に取り入れようかと思索されている様子でした。古橋先生はもうおなじみということもあり、講演は和やかに2時間の講演があったという間に過ぎてしまいました。参加者の皆様にも満足感が溢れていました。



御庭番スタッフ紹介

和歌山県和歌山市

コーケン建設

精密でリアルな御庭番は頼もしい武器
全体図は御庭番で、部分パースは手描きで…とそれぞれのメリットを併用します



エクステリアプランナー 中島麻織 様

入社と同時に御庭番を使いはじめ、現在御庭番歴半年ほどです。操作は教えてもらいましたが、以前の職場で1年半ほど別のキャドを使っていたこともあり、会得は早かったと思います。両方を使った経験から言えば、御庭番はキャド初心者の方でもわかりやすく、入りやすいと思います。勾配をつけない平面ならすぐ描けますので。ですから、現場での施工経験のある方なら、「とりあえず勾配なしで描いて、あとは現場で対応」という感じでどんどん使っていけるとおもいますね。私の仕事は単に図面を描くだけでなく、営業と一緒にお客様と打ち合わせ、現場にも行きます。そうしないと、お客様のご要望も直に伝わってきませんし、私の提案の意図も伝えられないからです。営業とプランナーと現場が力を合わせてつくっていくのが楽しいし、お客様が喜んでくださると達成感があります。今後ますますプラン力と技術力がモノをいう時代になりますので、精密でリアルな御庭番は頼もしい武器になってくれると思います。ただ私は手描きの味わいも好きなので、全体図は御庭番で正確に見せて、部分のパースなどは手描きで雰囲気を出す…というふうに、それぞれのメリットを併用しています。お休みの日ですか？普通にショッピングもしますが、植栽が好きなのでよく見に行きますね。仕事は趣味の一貫なので、勉強したり情報収集したりするのが楽しいんです。